



令和8年1月26日
北海道開発局

「北海道港湾活用ビジョン（仮称）」の 中間報告を公表します

～北海道における洋上風力発電設備の導入促進に向けて～

北海道開発局では、北海道におけるGXの推進や洋上風力産業の集積に向けて、洋上風力発電事業において道内港湾に求められる機能・役割を整理し、「北海道港湾活用ビジョン（仮称）」を策定するための検討を行っています。この度、「北海道港湾活用ビジョン（仮称）」の中間報告を公表いたします。

この中間報告は、洋上風力発電設備の導入において道内港湾に期待される機能・役割を整理するにあたり、北海道開発局が港湾管理者に対して実施したヒアリング結果等をとりまとめたものです。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

港湾空港部 港湾計画課 課長 櫻井 義夫（内線 5611）

港湾計画管理官 谷 拓歩（内線 5614）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和8年1月26日
北海道開発局

北海道港湾活用ビジョン（仮称）中間報告

■ 北海道港湾活用ビジョン（仮称）の目的・内容

- ・ 北海道におけるGX推進や洋上風力産業集積に向けて、道内港湾の機能を最大限活用して、着床式・浮体式の洋上風力導入を推進することが必要不可欠である。
- ・ については、洋上風力発電事業においてヒアリング結果等に基づく各港湾の特徴等を整理するもの。

■ 中間報告の位置づけ

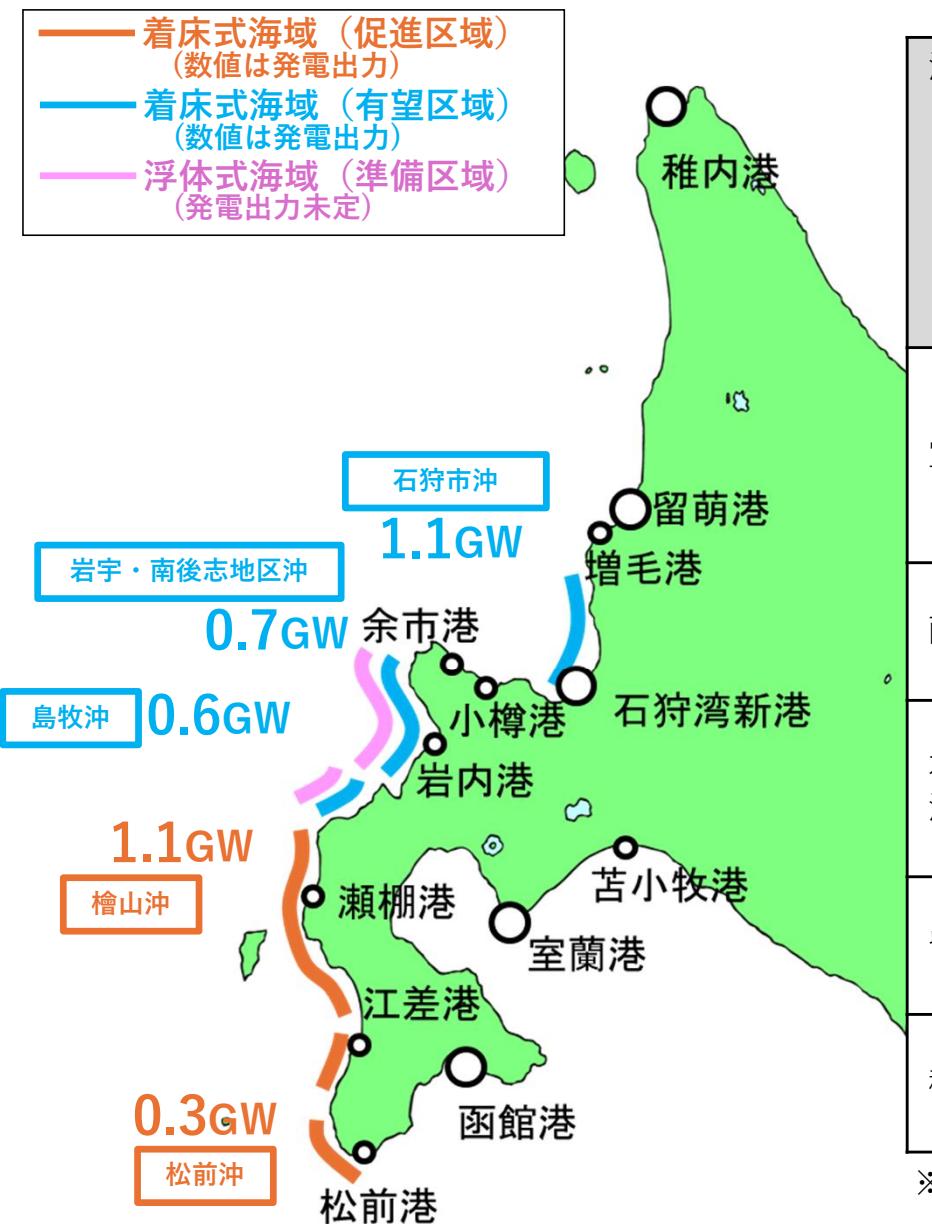
- ・ 洋上風力発電設備の導入において道内港湾に期待される機能・役割を整理するにあたり、北海道開発局が港湾管理者に対して実施したヒアリング結果等をとりまとめたもの。（別添資料参照）
- ・ 今後のとりまく状況の変化、港湾管理者の意識の変化などにより本内容は変わりうるものである。

■ 別添資料

- ・ 港湾管理者へのヒアリング結果等に基づき、現時点で港湾管理者として導入を目指す機能を、風車部材製造機能と風車組立機能の2つに分類。

北海道港湾活用ビジョン（仮称）中間報告 別添資料

令和8年1月現在



港湾	機能分類		各港湾の特徴や意向
	風車部材製造	風車組立	
室蘭	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基地港湾指定意向表明(R4) ・製造拠点に向けて誘致活動を実施中 ・製造拠点かつ組立拠点という北海道唯一の洋上風力の総合拠点の役割 ・浮体基礎製造・保管の役割
函館		○	<ul style="list-style-type: none"> ・浮体基礎製造に向けた検討を開始 ・着床式の設置・組立拠点を補完する役割
石狩湾新	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基地港湾指定意向表明(R4) ・港湾区域内での洋上風車組立の実績を有する ・部材製造に関心 ・浮体基礎製造・保管の役割
留萌		○	<ul style="list-style-type: none"> ・基地港湾指定意向表明(R4) ・浮体基礎製造・保管の役割
稚内		○	<ul style="list-style-type: none"> ・基地港湾指定意向表明(R4) ・浮体基礎製造の役割

※上記の他、O&M港として、苦小牧港、室蘭港、函館港、小樽港、石狩湾新港、留萌港、稚内港に加え、海域に近い港湾として松前港、江差港、瀬棚港、岩内港、余市港、増毛港などが存在。